

## 「すらら」に中学生向け古文・漢文コンテンツ搭載

7月13日(金)提供開始、初めて見る文章でも的確に読み解く力をつける

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、クラウド型学習システム「すらら」の中学生向け古文・漢文コンテンツを7月13日より提供開始いたします。

古文・漢文コンテンツは、従来の「すらら」と同じように、プロの声優による聞き取りやすい音声ナレーションとともに展開される、わかりやすいアニメーション講義が特徴です。一方的な解説ではなく、学習者に質問に答えさせながら進むインタラクティブな講義となっているため、学習者は飽きずに集中して取り組むことができます。

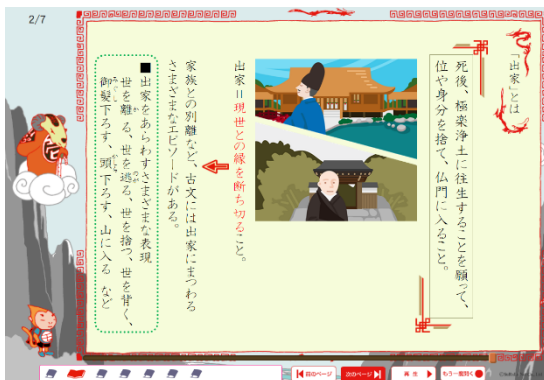
また、古文・漢文コンテンツは中学校の学習指導要領に準拠しながら、「すらら」国語の特徴である「どのような文章でも読解できる、本質的な力をつける」というコンセプトに基づいて開発されています。知識を覚えなくてはならない場面でも、それを丸暗記させるのではなく、言葉の変化の過程や時代背景を踏まえた解説を行い、理解に基づいて覚えられるように指導しています。これにより、学習者は入試などで初めて見る文章に出会っても、的確に読み解く力を身につけることができます。

古文・漢文はそれぞれ、「入門」「実践演習」のステージから構成されています。

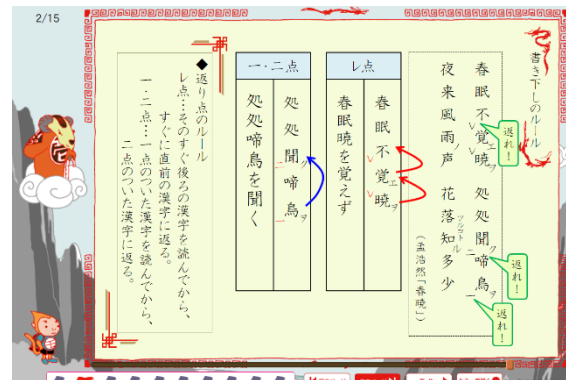
「入門」では読解に必要な知識をつけることを主眼に置き、古文では歴史的かなづかいから始まり、古文表現や和歌・俳句の技巧を、漢文では基本的な訓読の仕方と漢詩の技巧を学びます。各單元には必ず、学んだ知識を文章のなかで確認する問題を盛り込んでいます。これにより、初めて見る古文・漢文の文章を読むことに抵抗感のある学習者でも、習った知識で解ける問題に触れながら、自然と慣れていけるよう配慮しています。

また、その後の「実践演習」ステージでは、古文では説話・随筆・物語など、漢文では評論・漢詩と、様々なジャンルの文章に読み慣れるトレーニングを行います。冒頭ではジャンルや出典に関する解説も行い、時代背景を理解しながら読解問題に取り組めるようになっています。

すららネットでは、今後も「教育に変革を、子どもたちに生きる力を」という理念のもと、今後も利用者様の学習をサポートできるよう、質の高い教材・企画の開発に力を注いでいきたいと考えております。



▲古文画面例



▲漢文画面例